

# 市政のここがききたい

9月定例会では13人の議員が質問しました。

各会派の人数に応じて紙面の割り付けを行っています。

ここでは紙面の関係でその一部を要約して掲載しています。

〔八街市ホームページに一般質問の項目を掲載してあります。〕  
<http://www.city.yachimata.chiba.jp/>

誠  
和  
会

北村新司  
山本義一  
山本邦男  
古川宏史  
横田義和  
中田眞司

代表  
質問  
古川 宏史

ちば2005年アクション

**問** 日本一の安心農林水産物「千葉ブランド」の確立について。

**市長** 近年の農畜産物の自由化とともに、消費者のニーズは、ますます多様化し、農業経営の環境は厳しさを増しています。このような情勢の中、「千葉ブランド」を確立するための事業として、ちばエコ農産物産地拡大運動の展開は農業の自然環境に与える負荷を軽減し、持続的な農業の推進を図るとともに、生産者と消費者の相互の顔が見える農業を実現し、消費者の求める安全・安心な農産物の供給体制を作るために重要な取り組みと考えています。

**問** 健康づくりふるさと構想の推進について。

▲栄養指導教室（調理実習）



**市長** 「健康づくり教室型」

事業は、一人ひとりの健康状態や体力に応じた筋力トレーニング、固定式自転車による有酸素運動及び栄養指導などの健康づくりプログラムを県が提案し、これを受けて、市町村が「健康づくり教室」を開催し、情報技術を活用して運動のみならず、栄養や精神保健にわたる総合的な健康づくりの助言・支援を継続的に行います。

**問** 安心・安全な生活空間づくりについて。

**市長** 自分の安全は自分で守るという意識のもと、地域レベルでの自主防犯組織の活動が県内で活発化して

います。本市も、幾つかの地域で自主防犯組織が結成され、定期的に防犯パトロールを実施するなど、安心して暮らせる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

**問** みんなでつくる新しい地域社会「施策2」次世代育成支援対策の支援について。

**市長** 平成17年度から21年度までの5年間でその計画期間として

「八街市次世代育成支援行動計画」を17年3月に策定し、「子どもがいつも輝いて明るく健やかに育つまち」を基本理念とし、三つの基本方針、七つの基本目標を掲げ、すべての子育て家庭を対象として市民と行政が連携し、地域を挙げて子育てを支援したいと考えています。

**石綿（アスベスト）問題**

**問** 公共の建築物や構造物において対策が必要な施設は如何か。

**市長** 公共の建築物や構造物について、目視及び設計図書等で調査したところ、市役所第1庁舎の機械室内

及び樓戸排水場の2系ポンプ棟自家発電機室内に吹きつけアスベストと明記されたものがあつたので、早急に改修する方向で検討を進め、分析調査を併せて行う予定です。

**問** 市役所第2庁舎の天井部分の吹きつけアスベストは、昭和62年に囲い込みを行い、飛散しないような処理を終えていますか、これも分析調査を行う予定です。

**問** 市内の石綿製品の製造工場は如何か。

**市長** 現在、市内に届け出がなされている事業所はありません。

**問** 市民からの石綿（アスベスト）に対する問い合わせにはどのように対応されているのか。

**市長** 生活環境課が窓口になり、相談等の内容により、国・県の関係機関を紹介しているところです。

災害時における

初動体制の確立

**問** 地震時における緊急対応体制と台風時における緊急対応体制は如何か。

**市長** 職員の配備は、具体的には震災時では、八街市及びその周辺で震度4から5弱を記録したとき、それぞれ災害関係課等の職員を配備し、情報収集、連絡活動が円滑に行える体制として、震度5強以上では速やかに災害対策本部を設置し、緊急対策活動が円滑に行える体制としています。

**問** 風水害時では、台風の接近等により大雨等の警報の発令が予測された場合、災害関係課等が情報収集を行い、職員の応援体制により対応し、被害が甚大となった場合は、災害対策本部を設置し、緊急対策活動が円滑に行える体制としています。

指定管理者制度

**問** 指定管理者制度の運用をどのように捉えているのか。

**市長** 指定管理者制度では、施設の使用許可権限を指定管理者に委任できることとされ、使用料を指定管理者